

月刊 きょうと教育通信

Vol. 24 平成16年12月号 発行:京都市教育委員会企画課(222-3768)

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

全国に先駆け、地域ぐるみの教育を推進!!

**京都方式による「学校運営協議会」を3校に導入
— 順次拡大し、成果を全市に —**

学校運営に地域や保護者の声を反映させ、地域ぐるみの教育を推進する「学校運営協議会」を御所南小、高倉小、京都御池中の3校に設置することとし、11月26日、学校・地域・PTAの方々の出席の下、指定式を行いました。

3校では、これまでから「新しいタイプの学校運営の在り方に関する実践研究校」(文科省・京都市指定)として、地域・保護者・公募委員等からなる「地域学校協議会」が中心となり、教育活動への評価や支援をいただくとともに、学校との共同授業・事業の企画・運営等に積極的に参画してきました。

本市では、こうした独自の取組や全市で取り組んでいる学校評議員、学校評価システムなど、開かれた学校づくりの成果の上にたって、国の制度を発展させた「京都方式」の制度づくりを進め、特に、校長の裁量の下に、学校運営の手腕を存分に発揮できるように、教育活動への参画と支援を行う



門川大作教育長が3校の地域・保護者の方々に学校運営協議会の趣旨を説明

「企画推進委員」を協議会の下に設置するなど創意工夫を重ねてきました。

今後、指定校の拡大とその成果を全市に波及させることにより、学校・家庭・地域が相互に教育力を高めつつ、双方向の信頼関係を深め、子どもたちの豊かな学びと育ちを創造する地域ぐるみの教育の推進を図ります。

11月29日、地域が参画した学校運営の在り方を探るフォーラム(文科省主催)が東京で開催。御所南小を含む文科省の「新しいタイプの学校運営の在り方に関する実践研究」校9校の取組が全国に発信されました。御所南小の学校・家庭・地域が一体となった取組が、全国の教育関係者から高く評価されました。

ご意見・お問合せ = 教育計画課(222-3815)

~学校現場で活躍する学生たちの集い~ **学生ボランティアフォーラム開催!**

12月4日、市立学校・園で活躍している学生ボランティアの交流の機会として、「学生ボランティアフォーラム」を開催。学生や大学・学校関係者等で会場は満員となりました。

京都大学院 藤原勝紀教授の指導助言の下でのパネルディスカッションでは、パネリストのみならず、フロアにいた学生も相次いで意見発表するなど、参加者の情熱・意気込みが感じられ、交流会でも、自然に人の輪ができ、学生等が、熱心かつ和気あいあいと交流を深める有意義な場となりました。

本市では、現在、560人の学生の皆さんに様々な分野で活躍いただいております。今後さらにその輪を広げ、活動の一層の充実を図ります。



パネリストと参加者が一体となり熱気溢れるフォーラム会場

ご意見・お問合せ = 教育計画課(222-3815)

《今月の主なできごと》

- 2日 十四大都市中学校長会京都大会。全国から参加した校長先生が、諸課題について実践に基づいた熱心な議論を展開。榎本頼兼市長も激励に訪問・挨拶。
- 8日 生涯学習市民フォーラム。中坊公平氏(同フォーラム会長)と長尾真氏(前京大総長)による特別対談に約700名が参加。
- 10日 第1回全国小学校英語活動実践研究大会。全国初!小学校英語活動の全国大会。約800名の参加者が活動の成果と課題を共有。
- 11日 第7回PTAフェスティバル。総勢22,000人が参加。各校のPTAの特色ある取組が紹介され、活動の輪が大きく広がった。
- 14日 京都工繊大との学生ボランティアの活動に関する協定に調印。同大学生からも子どもたちの教育活動を支援いただきます!
- 19日 「京都国際マンガミュージアム(仮称)構想」策定記念フォーラム。河合隼雄文化庁長官による講演や中尾ハジメ京都精華大学長等によるパネルディスカッションを実施。

～教育力の一層の向上を目指して～ 11.20「みやこ学校創生事業の日」

今年度、本市全体で重点的に推進すべき喫緊の教育課題に取り組むとともに、その研究成果を全市に波及することによって、本市教育力の一層の向上を図るため、「みやこ学校創生事業(みやこパイロット・スクール)」を創設しました。

11月20日、本事業の指定校が一堂に会して研究発表・情報交換を行う「みやこ学校創生事業の日」を総合教育センターで開催。延べ約1,000名に及ぶ多くの教職員が参加しました。

全体会では、高桑三男教育次長の挨拶の後、「今、京都の教育に求められるもの～新しい学校創生を目指して」と題したシンポジウムを行い、西岡正子佛教大学教授、稲富哲哉岡崎中学校長、谷口賢司教育政策監、向井宣生指導部長の4人のパネリストが、京都の教育の現状と課題、今後本市の教育に求められるもの等について、それぞれの熱い思いを語りました。



本市教育の現状・課題等について各々の考えを述べるパネリストの方々(写真下)。教職員で会場は満員に。(写真上)

また、分科会では、小中連携、総合学習、二期制、習熟度・少人数授業、学習評価、教科担任制の6つのテーマについて、指定校の実践報告をもとに熱心な研究協議を行いました。参加者からは、「各小・中学校の先進的な取組と具体的な研究協議を一度に聞くことができ、自校の取組の充実・推進に繋げていく上で有意義な取組だった。」「それぞれの校種の具体的な取組をよく理解することができた。」「今後ともこうした機会を設けて欲しい。」等との声が寄せられ、実り多き発表会となりました。

ご意見・お問合せ＝学校指導課(222-3806)

本市教育委員長・教育委員が 学校現場を訪問・視察

田中田鶴子教育委員長や各教育委員が度々、学校視察を行い、各校の熱意溢れる取組に感動。

このたびは、多くの学校で研究発表会が開催される時期に、各委員が自ら選択した学校を訪問されたもので、児童・生徒や教職員をはじめ、保護者、地域の方々とも積極的に交流されました。

児童と話す田中教育委員長(写真左から山脇安三洛央小学校
長 由中委員長 岩淵恵子首席
指導主事)



視察日	学校名	教育委員
11月11日	皆山中	篠本薫委員
11月12日	修学院中	田中田鶴子委員長
11月12日	堀川高	鈴木千鶴子委員
11月13日	堀川高	山田浩之委員
11月15日	京都御池中	水野彌一委員
11月25日	弥栄中	篠本薫委員
11月26日	洛央小	田中田鶴子委員長
12月3日	山王小	田中田鶴子委員長 鈴木千鶴子委員

ご意見・お問合せ＝企画課(222-3768)

～若者たちの熱い思いが渦巻いた～ 「大風流2004」

11月20日、KYOTO青年元気まつり～「大風流2004」メインイベントを、京都駅ビル室町小路広場で、約1万人の来場者を迎え、開催しました。

当日は、珍しい楽器演奏や個性溢れる音楽ステージ、着物ショー、年に1回だけ編成される特別のオーケストラなどが出演。

フィナーレでは、樹本頼兼市長等が、スタッフ手作りの「大風流エプロン」を着用して登場し激励の挨拶。会場の熱気は最高潮に達しました。

ボランティアスタッフとして集まった若者たちが企画運営するこの取組も今年で6回目。代表の小辻美世子さんが『大舞台』の舞台上で流した感動の涙は、スタッフ全員の熱い思いと大きな成長を物語っていました。



観客を巻き込む多彩なパフォーマンスを繰り広げた大風流
メインイベント

ご意見・お問合せ＝社会教育課(222-3800)